

令和8年3月13日

地域連携推進会議

場所：ホーム望第3（うめ）

日時：令和8年3月13日（金）13：30～14：30

出席者：利用者：S様

保護者：I様

福祉関係者：K様 デイサービス施設 管理者

地域関係者：M様

地域関係者：Y様

ホーム望：施設長・係長・リーダー

会議目的：地域との連携を通じ、

- ① 利用者と地域との関係づくり ② 地域住民による施設や利用者への理解の促進
- ③ サービスの透明性と質の確保 ④ 利用者の権利擁護を図る

ことを目的とし地域の関係者を含めた外部の方が参画する会議体となります。

資料：白根学園パンフレット・ホーム望事業所紹介PPT・2025年度白根学園研修実績
グッドジョブ報告会チラシ

○会議内容

1, 開会あいさつ 施設長

ご参加いただいたことへのお礼を述べ、会議開催の経緯と目的をお伝えしている。

2, 出席者紹介 係長

お一人ずつ自己紹介いただく。

3, 施設見学 係長・リーダー

会議場所であるうめホームを見学案内。

共有部分の他、参加者であるS様に了承をいただき居室内も見学。

夜勤体制や防災設備、緊急時の対応等も説明。

その他うめホームとしての装飾やお約束事の掲示等興味深く見学なされている。

4. 事業所・GH紹介 施設長・係長

- ・法人概要、事業所紹介

白根学園の紹介を、パンフレットを用いて行う。

その後ホーム望（就労拠点）の説明を、事業所紹介資料を用いて行う。

5. 利用者さんの生活のご様子 係長・リーダー

- ・S様の生活の紹介、質疑応答

実際に生活されている利用者様の1日のスケジュールを紹介し、その後出席者であるS様にインタビューする形で伺う。

- ・うめホームに入って何年になりますか。

→9年です。

- ・日中はどこに通っていますか 何をしていますか

→しらねです。ボールペンとアルミをやっています。

- ・ホームではどんなことをして過ごしていますか

→塗り絵をしたり本を読んだりしています。

- ・ホームでの生活は楽しいですか

→楽しいです。友達とも仲いいです。

- ・ホームでの生活を続けたいですか。

→ずっと生活したいです。

6. 利用者の権利擁護の取り組み 施設長

利用者様の権利擁護とその取り組みについての説明を行う。

法人全体の権利擁護委員会、年に2回の虐待防止研修、全職員に向けての権利擁護研修、人権チェックリストの実施の他、法人及び事業所毎に行っている研修の取り組みについても説明。

7. 質疑応答・感想

○質問

M様

- ・GH利用者の方はどこへ通っているのか？

→法人内事業所だけでなく外部事業所、一般就労に行かれている方も多い。

うめホームの方々は就労センターしらねに通っている方が多い。通所方法も様々で単独で徒歩、交通機関を利用される方もいれば送迎を利用されている方もいらっしゃる。

○感想

Y 様

うめホームの綺麗さ、アットホームな雰囲気がいいと思った。自身の子どもが重度ということもあり、こういったホームに入ることは難しいと思うし、入れた方は恵まれていると感じた。こういった基準で入ることができるのか気になる所ではある。自身の子どもも、年齢を重ねるとこのような施設にお世話になることがあると思うが、重度の方の受け入れ先がなかなか見つからないため、もう少しGHなどの受け入れ場所が増えると良いと思っている。同ホームのOさんとのコミュニケーションでなかなか聞き取りにくい場面があり、「お風呂の順番抜かれたの」と言った会話を聞いていたため、今回の見学でうめホーム内の様子が見れ、このことだったと知りことができた。今後のOさんとの会話の参考になった。

K 様

始めてホーム内に入ったが綺麗さに驚いた。当事業所は介護保険の施設であり、高齢の方を対象しているが、ホーム望だけでなく、里や和の利用者の方々にも利用していただいている。うめホームでは、Kさんにも利用していただき、活動にも集中して取り組まれている。今後、障がいをお持ちの方も介護保険を併用することもあると思いますので、その際は是非よろしく願います。

I 様

娘は対人関係でトラブルを起こしがち。ただ、スタッフさん、職員さんの協力もあり、長い年月をかけてホームで落ち着いて生活することが出来ている。娘は高校の担任にGHへの入居を強く勧められていた。将来を見据えて、他の方と生活できるようになる、他の方とご飯を食べることが出来ることの必要性を早い段階から教えてもらっていた。今後は親も高齢になる。今後介護保険も利用できることが知れてよかった。